

ふっかちゃん子ども読書推進事業

—No.16 深谷市—

【事業の内容】

「ふっかちゃん子ども福祉基金」を活用し、子どもの読書を推進する事業を新規に実施します。

① ふっかちゃんブックスタート事業

赤ちゃんとその保護者が「絵本」を通じて親子のふれあいを楽しみ、読書に親しむ機会を提供するため、市イメージキャラクター「ふっかちゃん」を題材とした絵本を公募により制作し、生後4か月児健診の際にプレゼントします。

② ふっかちゃん図書館障害者サービス事業

iPadやDAISY（デジタル録音図書）等を購入し、図書館が所蔵する資料の利用に障害のある子どもたちの読書環境を整備します。

※「ふっかちゃん子ども福祉基金」

安心して子育てができる環境づくりを推進し、次代を担う子どもたちの健やかなる成長に資するための事業の財源に充てるために設置された基金。

【事業年度】

平成28年度～

【予算額(千円)】

7,497千円（平成28年度）

【財源】

一般財源（市）



【事業実施に至った背景・経緯】

① ふっかちゃんブックスタート事業

深谷市立図書館では、平成13年8月から、生後4か月児健診の際に赤ち

ゃんとその保護者に対して赤ちゃん絵本の紹介と読み聞かせを実施していましたが、紹介した絵本の配布は行っていませんでした。

「ゆるきゃらグランプリ2015」において市イメージキャラクター「ふっかちゃん」が「forチルドレングランプリ」を獲得したことから、キャラクターを生かしたブックスタート用絵本の制作を企画しました。

② ふっかちゃん図書館障害者サービス事業

障害者差別解消法が平成28年4月1日に施行され、地方公共団体に合理的配慮が義務化されるに当たり、子どもたちが図書館を利用しやすくなるようサービスの拡充を企画しました。

【事業のPRポイント】

① ふっかちゃんブックスタート事業

- ・ 全国初の「ゆるきゃら」を主人公にしたブックスタート用絵本
子どもに愛されるキャラクターを生かしたブックスタート用絵本の制作は、全国で初めてとなります。
- ・ 職員検討チームを構成し、募集内容を検討
ブックスタート用絵本にふさわしい絵本になるよう、乳幼児を産み育てている職員やこれから親になる若手職員によるプロジェクトチームを設置し、募集内容等を検討しました。

② ふっかちゃん図書館障害者サービス事業

- ・ マルチメディアDAISYを生かした資料整備
市内小中学校と連携して、視力や視野の障害、学習障害や発達障害の子どもたちに利用できる資料やiPadなどの再生機器を整備します。

【事業実績・成果・今後の展開】

① ふっかちゃんブックスタート事業

平成28年7月から10月まで作品を募集し、選考委員会による審査を経て、優秀作品を決定します。印刷製本後、平成29年3月から配布を開始します。

② ふっかちゃん図書館障害者サービス事業

平成28年4月から、マルチメディアDAISY資料やiPadなどの資料を整備していきます。

〔 連絡先 〕

深谷市立図書館 048(571)8210(直通)